

様式7

「学校」部門

河川基金助成事業

「河川防災教育や水環境を中心とした河川教育の開発」 報告書

助成番号：2019 - 7212-001

東京都町田市立鶴川第二小学校

校長 鈴木 明子

2019 年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2019-7212-001	河川防災教育や水環境を中心とした河川教育の開発			町田市立鶴川第二小学校		
校長名	鈴木 明子	担当教諭名		鈴木 明子		
過去の助成実績	なし あり [助成番号： 助成事業名：河川教育カリキュラム作成試行検討業務]					
キーワード	・水環境学習 ・水災害と避難訓練 ・地域防災 ・クロスカリキュラム					
対象児童生徒	高校生 (年 名) 中学生 (年 名) 小学生 (3・5・6年279名)					
対象河川名	真光寺川	活動場所の指定状況		なし 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
テーマ	: 河川防災教育や水環境を中心とした河川教育の開発					
ねらい	: 河川防災教育や水環境を中心とした河川教育を通して、思考力と人間形成力を育成する。					
評価の観点	: 思考力 (論理的思考力、メタ認知力、適応的学習力)、人間形成力 (主体性、協調性)、自然愛護心、危機回避能力、地域愛					
活動時期	: 通年					
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習 ()	各教科学習 ()	学校行事	その他 ()	合計
上記の活動時間数	5時間 (3年)	時間	時間	3時間 (5・6年)	時間	3年 5時間 5・6年 3時間
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援概要	・「真光寺川を清流にする会」3年生：真光寺川の地理、歴史、生き物、活動等についての話 ・鶴川第二小学校避難施設開設委員会 5・6年生：総合防災訓練への参加					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体	・発表会資料		
対外発表 ()						
安全対策に関する課題						
・ビオトープにブヨが発生し、刺された子供が数名いたので、活動の前にミント油を噴霧した。						
活動の成果と今後の課題・展開						
<p><3年生></p> <p>社会科での地域探検を発展させた総合的な学習の時間「たんけん、発見！わたしたちのつる川」で、鶴川の素敵なところをみんなに伝える学習を展開した。グループ活動の前に、全員の共通の基盤として真光寺川と鶴見川を扱い、真光寺川と鶴見川の合流点までの探検や親水堰での生き物探し、「真光寺川の清流を守る会」の方々をゲストティーチャーに迎えて、川の成り立ちや歴史、生息する生き物について、そして貴重な清流の環境を守っていく活動についての話を伺って交流した。子供たちは、身近に見ている川の流れについての認識が変わり、親しみもわき、自然保護の意識から、貴重な生き物を学校のビオトープで育てる活動へと発展した。地域教材、自然教材として有効活用ができた。ビオトープの更なる安全性確保と水の循環改善が課題である。</p> <p><5・6年生></p> <p>地域合同防災訓練に5・6年生が参加する活動を行った。大型台風の直後であったため、水災害の防災意識が色濃く出た訓練での体験を通して危機感を強めると共に、危険予知と危機回避の方法を学び意識を高めることができた。防災について「自分たちに何ができるか」の視点での活動を深めていきたい。</p>						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	生物調査系	生き物と環境	11~3月	
			教育研究系	防災教育	10月	

※データベースに登録する活動分野は、助成事業実施の手引きP.47の一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい

アドバンス 活動報告書

(NO. 1)

1.助成事業名	河川防災教育や水環境を中心とした河川教育の開発	学校名	町田市立鶴川第二小学校	助成番号	2019-7212 -001
2.単元名	地域総合防災訓練への参加		「たんけん、発見！わたしたちのつる川」		
3.目標	防災訓練参加を通して、防災に関わる知識・技能を習得し、実際に行動して命を守る力を高める。		地域の自然や人々の魅力に迫る活動を通して、思考力と学びに向かう力を高める。		
4.実施学年 人数	第5・6学年 189名		第3学年 90名		
5.場所	学校校庭及び体育館		学校周辺		

6.単元構想 (総時間数)	3時間	16時間
---------------	-----	------

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---

○学年・単元目標	5・6年生						3年生					
	<p>地域総合防災訓練への参加 (避難訓練) 3H 地域の人々と共に避難施設での総合防災訓練に参加し、防災活動について理解すると共に、自分たちでできる活動を考えて手伝う。</p>						<p>「たんけん、発見！わたしたちのつる川」 (総合的な学習の時間) 16H 鶴川の素敵なところを伝え合う学習を通して、自分たちの住む地域の自然や人々の魅力に気付いて愛着をもつ。また、地域の自然を守るために活動している人々と交流し、自然保護の意識を高める。</p>					

主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○地域総合防災訓練への参加 ○振り返り 						<ul style="list-style-type: none"> ○地域総合防災訓練への参加 ○振り返り 						<ul style="list-style-type: none"> ○お気に入りの場所の情報を家族や友達から集める。 ○行き入りの場所に探検に行く。 ○地域の自然や施設、歴史、文化などを調べ、地域の人のお話を聞く。 ○地域のよさを伝えるための計画をし、実行する。 ○地域の一員として、これから自分にできることを考える。 					
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--

評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ◇危険予知能力 ◇危機回避能力 ◇安全に行動する力 ◇地域貢献力 ◇自分や他の人の命を守る意識 						<ul style="list-style-type: none"> ◇自分で考えて行動する主体性 ◇友達と協力して学びを深める協調性 ◇これまでの学習を生かし、思いをもとに活動を組み立てる企画力 ◇鶴川のよさに気づき、醸成される愛着 ◇自分に何ができるのか、地域の一員としての自覚 					
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1.助成事業名	河川防災教育や水環境を中心とした河川教育の開発	学校名	町田市立鶴川第二小学校	助成番号	2018-7212-001
---------	-------------------------	-----	-------------	------	---------------

7.実際に行った単元構成 注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		
3・5・6学年	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p><第5学年></p> <p>○地域総合防災訓練への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害〇×クイズ ・避難所体験 ・煙ハウス体験 <p>○振り返り</p> <p>洪水のときは、どちらに逃げる？</p>  <p>こんな薄くても毛布の代わり 温かい！</p>  <p>アルファ化米のおにぎり おいしくいただきました</p>  <p>非常灯の明るさに驚きました</p>  <p>一人分のスペースはこれだけ？狭い！</p>  </div>						5・6年生		3年生				
							<p>地域総合防災訓練への参加 (避難訓練) 3H</p> <p>地域の人々と共に避難施設での総合防災訓練に参加し、防災活動について理解すると共に、自分たちでできる活動を考えて手伝う。</p>		<p>「たんけん、発見！わたしたちのつる川」 (総合的な学習の時間) 16H</p> <p>鶴川の素敵なところを伝え合う学習を通して、自分たちの住む地域の自然や人々の魅力に気付いて愛着をもつ。また、地域の自然を守るために活動している人々と交流し、自然保護の意識を高める。</p>				
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p><第6学年></p> <p>○地域総合防災訓練への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会式への参加 ・AED講習 ・三角巾の扱い講習 ・毛布での担架作り ・非常トイレ組み立て ・水の濾過講習 ・非常食の試食 <p>○振り返り</p> </div>						<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>○お気に入りの場所の情報を家族や友達から集める。</p> <p>○行きに入りの場所に探検に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で、真光寺川探検(親水堰、鶴見川との合流地点まで) ・グループ別探検 <p>○地域の自然や施設、歴史、文化などを調べ、地域の人の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴二小の卒業生 ・地元の農家の方 ・真光寺川の清流を守る会 <p>○地域のよさを伝えるための計画をし、実行する。</p> <p>○地域の一員として、これから自分にできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然保護活動(水辺の生き物、カブトムシ飼育) <ビオトープの水循環のための井戸づくり> ・花を植える活動 等 </div>							
											8.成果と課題		
<p>第5・6学年 近年に無い大型の台風が過ぎ去った直後であったので、実際の被害に基づく消防署の方の話にリアリティがあり、自分事として体験することができた。自分の命を守るだけでなく、周りの人の命を守るために自分たちにできることを考える学習へと発展させていきたい。</p>						<p>「鶴川の魅力を発信したい」という思いをもとに、自分たちで学習計画を立て、実行し発信する準備をすることができた。活動を通して、主体性、協調性、企画力を育成することができ、地域に対する愛着や地域の一員としての自覚が深まった。3月に保護者と地域の方を招待しての発表会を計画していたが、臨時休業のために実現できなかった。4年生でも引き続き、地域に貢献するために決めたビオトープで真光寺川の生き物を飼育する活動と花を植える活動を続けていく。</p>							



真光寺川

メンバー:



真光寺川の生き物 魚類

コイ、ゆるやかな中層に生息。体長60cm、雑食性、4・6月水草に産卵。

オイカワ、おだやかな中層に生息。体長15cm、雑食性、5・8月に砂底に産卵。名前の由来は、河で追い上げてとるため。

モツゴ、中下層に生息。体長12cm、雑食性、4・7月に水草などに産卵。



真光寺川を清流する会の取り組み

清流する会の人たちは、2000年にこの会を作り、**清掃**してきた。毎月第2日曜日・9時半にゴミを拾っている。

小・中・高校との説明会などを行っている。

めだかポスト(人々の川についての声を聞くための投書箱)をフェンスに設置している。メダカが住めるきれいな川にしたいというねがいから名づけられた。

川に変なものがあるや、面白い生き物がいるなどを書いてもらっている。



真光寺川ってどんな川?

真光寺川は町田真光寺町をすい源としています。鶴見川の支流の一つ。

真光寺町にわきでて広袴や能が谷を流れ

開戸新水で鶴見川に合流、**長さ約4キロ**のふる里の川。

川の名は真光寺と言う古いお寺の名前からつけられた。

昔は田んぼに水をそそいだり野菜を洗ったりした幅3・5メートル位の

自然の川、生活の川、曲がりくねって流れ、生き物も多く、川遊びがたのしめた川、洪水をおこしたかわ。その後は、人口が増えて汚れた水を川へ沢山流すようになったので汚れた水が入らないよう下水道を整備しています。



真光寺川の生き物 魚類

カワヨシノボリ、石や砂床に生息。体長5・10cm、肉食性、4・6月に

石の下の巣穴に産卵。

タモロコ、中下層に生息。体長12cm、雑食性、4・7月に水草等に産卵。



真光寺川ってどんな川？

また、大雨でも洪水にならないように、川を深くして

直線の川へ、作りかえた。



足を入れて遊べるくらいきれいに

洪水の、ない川ともなりました。

しあう事が

できにくい川となっ

けて、下さい。

など、自然を大切にしながらゴミが落ちていたら、拾ってあ

真光寺川を清流する会の取り組み2

清流する会の人たちは、夏休みのはじめの土曜日に「真光寺川まつり」をおこなっている。しも
ぜきしんすいひろばで魚とり・水鉄砲・ザリガニ釣りなどをおこなっている。大人も子どもも魚とり
にむちゅう！！



真光寺川 まとめ

このように真光寺川は、清流にする会のおかげで

生き物がふえたりして、子どもが遊べるようになっています。

皆さんも、真光寺川に少し興味を、もったりゴミが落ちていたら

ひろったりしてみてください。

そして、生き物を大切にしてください。



真光寺川 生き物 鳥類

キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ。体長20cm、水辺や田畑・住宅地で見られる。

コガモ、マガモ、オナガガモ、オカヨシガモ、カルガモ。体長38～61cm、水草など植物が主食だが、雑食。



真光寺川 鳥類 まとめ

真光寺川には15種類くらいの鳥が住んでいる。

それらの鳥は生きていくために行動するのを夜にしたり、いろんな物を食べたりしている。たとえばサギの仲間は魚、カエル、ヘビ、ザリガニなどを食べる。

鳥は魚や水草、昆虫などを食べる。



真光寺川 魚類 まとめ

真光寺川には8種類くらいの魚がたくさんいる。

それぞれ、特徴や体のサイズ、すみかにしている場所もちがう。

魚は生きていくため、雑食性の魚が多く、決まった月に水草や石の下、砂底に産卵する。メダカはいない。時々誰かが放したメダカがいることがある。

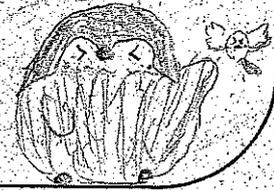
平成26年には外来種のおオクチバスやブルーギルがいることが確認された。

いずれも侵略的外来種に指定されている。

★地区総合防災訓練に参加して感じたこと、考えたこと

5年 組()

地域の皆さま、地区総合防災訓練をひらいて下さり
ありがとうございます。私は防災訓練に初めて参加しました。
〇×クイズでは防災について、たくさんのクイズを出してもらい、
防災の知識意識がとても高まりました。アルファ米も、皆さん
が朝早くから炊いて下さり、たんまりとても美味しく感じました。災害時
はこうゆう物を食べるんだなあ、と勉強にもなりました。
災害がおきた時も防災訓練で学んだことを生かして自分の命
を守りたいです。本当にありがとうございました。



★地区総合防災訓練に参加して感じたこと、考えたこと

5年 組()

地域のみなさま地区総合防災訓練を実施していただきありがとうございます。
私は初めてみなさんの様子や、おゆるがスペース
ほどのくらいか、あかりは、どうせ、つづのかがわかりました。
私の家では地味たいまきはひきこいるのですがまた防災グッズを作、といま
せん。それに近くの川は、お人らにしないようにひきこいたし台風が何回
もきこも何もおこらないので「大はうかた」と思、ていまして。でも防災
訓練で危険なことも知り、自分なりに防災グッズ、台風のたいこもして
みました。それに、野田市にみなさん所か、い、は、いあることにきがつきました。
この前の台風はみなさん所に二小は入、てないけど本当はみなさん所たった
んでおね。みなさん所た、い、る、こ、は、人、は、お、い、し、か、た、ひ、す。
また、6年生をまたやるけど
このことはおすれと、い、に、お、思、い、ま、す。
本当にありがとうございました!

★地区総合防災訓練に参加して感じたこと、考えたこと

5年 組 ()

地いきのみなさん、このようなことをきかしていただきありがとうございます。台風や地震がいつおこるのかもわかりません。なので、家でもひなんするための道具をチェックして、いつおきてもこもらないようにしておきたいです。そして、つるニ小も、ひなんじょになるということなど、ひなんじょでやる時のことなど、たくさんのことを教えていただきました。だから、ひなんした時などに教えていただいたことを生かして行動したいと思います。わざわざ56年生のために、ありがとうございました。

★地区総合防災訓練に参加して感じたこと、考えたこと

5年 組 ()

地域の皆さん、この地区総合防災訓練をきかしてくださり、ありがとうございます。私は、鹿島ニ小しかひなん所を知らなかったの、71ヶ所もあると聞いて、こゝは、みんながひなんできるように工夫していると知って、私もみんなを守りたいと思いました。たくさんの方がみんな安心できるようにしていると聞いています。アルファ米を食べ、ひなんするときは、このようなものを食べるのたなど知り、食べられると思いました。わたしがこの訓練をやる前、私は、真、暗だと、なれないので大丈夫かなと思っていましたが、や、て、あんなに太陽のよう、に明るく、夜は見たことがなく、おどろきました。私は、地区防災訓練をや、て、不安だったこと、いろいろな知識を知って、安心なことにかわり、人を助けようと思いました。

★地区総合防災訓練に参加して感じたこと、考えたこと

6年 組()

・災害は、意外に身近なものであった！
・(災害に対して)考え方はさまざま。
・今すぐは使わなくても、いつかAEDの知識が役に立つ日がくると思う。
・アルファ米が、とてもおいしかった。
→災害の時、いやがらずに食べられよう。

★地区総合防災訓練に参加して感じたこと、考えたこと

6年 組()

参加してみても、大規模な災害は起きないだろう、
と思っただけと、実際に役に立つ訓練を
して、とても他人事じゃないと感じました。
三角さんの使い方の説明の後、残った最初の
状態にもどす方法を一人で教えてもらい、下とま
とても優しく教えてくれて、とても知りた
いなど興味を持ちました。

★地区総合防災訓練に参加して感じたこと、考えたこと

6年組()

10/19 は来てくれたこと、ありがとうございます。
先週、また台風19号は、大変でしたね。
ですが、防災訓練に参加して、次の台風の
時に休まなくて済むことができるよ
と思います。AEDの使い方も分かったの
で、いざ使う時に自分が動けるようにしたいと
思います。本学にありがとうございます。

★地区総合防災訓練に参加して感じたこと、考えたこと

6年組()

自分でも何かが人を助けたりできるんだな
と思いました。
これから色々なことをしている人などがいたよ
うなことが、生かして助けようと思いました。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2019-7212-001	河川防災教育や水環境を中心とした河川教育の開発	町田市立鶴川第二小学校 鈴木明子

<第3学年>



フィールド：校内 教室
 日付：2019年11月
 コメント：
 前校長先生から学校ビオトープにいる真光寺川、鶴見川水系の貴重なホンメダカやホトケドジョウの話聞き、絶滅から守っていきたくいと意欲を高める子供たち。



フィールド：校内 プレイルーム
 日付：2019年11月
 コメント：
 養護老人施設を運営し、地域に根ざした活動を中心的行っている方からお話を聞いた。
 同窓会の会長でもある。
 小さい頃から真光寺川で遊んだ話などの昔の鶴川の様子や、今の地域に対する思い、生き方についての話で、子供たちは、地域への所属感や愛着を強めていた。



フィールド：
 日付：
 コメント：

注) 写真は5～6枚程度 (枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。)

<第3学年>



フィールド：真光寺川 親水堰

日付：2019年9月

コメント：

生き物探しをしながら、真光寺川に親しむ子供たち。

捕まえたエビを持ち帰って、その後家で繁殖させている子供もいる。

捕まえた魚は、一部学校に持ち帰り、廊下の水槽で飼育し、世話をしている。

初めて真光寺川に入った子供もいて、親しみがぐっと深まった。



フィールド：校内 プレイルーム

日付：2019年9月

コメント：

専門家の方に、今日、見つけた生き物の説明を受けた。

小さな水生生物の大切さと食物連鎖、そして、鶴見川水系に残っている絶滅の危機にあるホンメダカ、ホトケドジョウの話も伺った。清流を守って生き物のすみかを守ろうと活動している人々の事を知り、何とか自分たちにできることはないかと考え始めた。



フィールド：校内 ビオトープ

日付：2019年12月

コメント：

6年生に手伝ってもらって、3つめの池づくり。

真光寺川の貴重な生き物を学校で大切に飼育して増やし、保存したいとの思いが高まった。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2019-7212-001	河川防災教育や水環境を中心とした河川教育の開発	町田市立鶴川第二小学校 鈴木明子

主な実施箇所 真光寺川源流から鶴見川との合流地点

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は1/50万~1/100万程度)

助成事業の主な実施箇所

